

Rotary

イマジン
ロータリー

IMAGINE ROTARY



国際ロータリー 第2550地区

宇都宮東ロータリークラブ会報

<http://www.ri2550uerc.gr.jp/>

会 長 加藤 勝朗

幹 事 塚越 淳史

会報・雑誌委員長 関 元明

例会場 宇都宮市大通り2-4-6 ホテルニューイタヤ

例会日 毎週火曜日(12:30~)

事務局 ホテルニューイタヤ内 宇都宮東ロータリークラブ TEL.028-638-5125 FAX:5128

通算2976号 2022年11月8日(晴れ) 第18回例会 会員数112名

ハイブリッド例会

点 鐘 細谷副会長
司 会 SAA 中山会員

◇ロータリーソング「奉仕の理想」

※マスクを着用し、心の中で斉唱

◇本日のランチ 海の幸カレー サラダ



ビジター紹介 石川会長エレクト

◇来訪ロータリアン

1名(1クラブ) 累計26,602名

卓話講師 第2550地区ロータリー財団部門

平和フェロー・奨学金委員会

委員長 赤坂圭一様(足利東RC)

◇米山記念奨学生

ラグワスレン, アマルサナー君



会長挨拶 細谷副会長

皆さん、こんにちは。副会長の細谷です。今日は、会長所用のため、代わりを務めます。

先日の日曜日に、社会奉仕委員会、青少年奉仕委員会、ローターアクト委員会3委員会共催の「バンバ広場共同清掃奉仕活動」に参加しました。宇都宮東ロータリーの会員をはじめ、宇都宮東ローターアクト、作新学院大学ローターアクト、宇商マーキュリーインターアクトや、米山奨学生も参加してくれました。総勢80名弱参加の一大奉仕活動でした。人数が多いというのは凄いもので、予定時間を大幅に短縮して、バンバ広場から二荒山神社境内の清掃活動を終了しました。

その後、二荒山神社の境内にて記念撮影をし、神社より、ありがたい御札をいただき、解散しました。黒澤社会奉仕委員長、辻青少年奉仕委員長、薄井ローターアクト委員長の皆様、ご苦

労様でした。
◇奨学金の授与
米山記念奨学生
ラグワスレン, アマルサナー君



幹事報告

塚越幹事

◇本日18時30分~ パレット宇都宮美術館にて加藤年度第5回定例理事会開催。

◇来週の例会は、RI第2550地区の佐貫直通ガバナーの公式訪問。通常より早めのご来場を。記念撮影を行うため、ジャケット、ネクタイ着用を。例会終了後は佐貫ガバナーを囲んでの炉辺会合(14時30分終了予定)。理事役員、全ての委員長、会員、特に入会3年未満の方はご出席を。

◇11月1日(火)、第3グループA・B会長幹事会がベルヴィにて開催されました。徐々にクラブ内の親睦活動、対外的な奉仕活動が増えているようです。新入会員の獲得は苦戦し、第3グループの9月からの増減は0でした。IMは来年2月9日の予定です。



委員会報告

片山委員長

◇出席委員会

<皆出席表彰・10月分>

連続 5年 飯泉 修一会員

通算 3年 山下 大介会員

◇スマイルボックス委員会

佐々木(貞)副委員長

赤坂圭一平和フェロー・奨学金委員長

本日、卓話をさせていただきます。

加藤勝朗会長

本日欠席のため、ロータリー活動の根幹であるグローバル補助金のお話を聞けず残念です。赤坂委員長、本日の卓話よろしくお願

致します。

田嶋宏章会員

先週の11月1日、紅茶の日に弊社の創業140周年を記念してオリジナルフレーバーの紅茶をラウンジで提供することになりました。ワイズティーの根本社長に監修をお願いして弊社をイメージしたオレンジとピーチの香りがする紅茶となっております。年内にはティーパックの販売も予定しております。よろしくお祈りします。

「3分間スピーチ」



轟 宗雄会員

こんにちは、轟宗雄です。3分間スピーチをさせていただきます。先ず、自己紹介を簡単に致します。ロータリー入会は、平成8年(1996年)3月19日、今年で入会26年目を迎えました。職業分類は、写真・ビデオ制作です。現在、高根沢町の情報の森とちぎのSSCT内に事務所を置いて、主にビデオの撮影・編集を業務としております。出身地は、長野県長野市で、ご存知、信州善光寺の近くで育ちました。最終学歴は、長野工業高校電気科卒です。最初に勤務していた日立製作所の家電販売部門から栃木駐在を命じられ、そのまま宇都宮に永住することになりました。栃木県在住は既に、50年を超えました。大変良い場所です。

ロータリー入会のきっかけは、先日亡くなられた伴清パスト会長と、高野藤房パスト会長のお薦めでの入会です。話によりますと、私が入会した年度は、宇都宮東ロータリークラブ創立35周年の年に当たり、会員増強を35人目標に定め努力した結果、40名近くの入会に成功し、当時RI会長特別賞を頂いたとの事でした。従って、同期の入会者は大勢います。今も継続的に同期会をしています。

入会当初は、県内の錚々たる実業界の社長様の集まりで、とても私ごときが付いて行けないと不安が有りましたが、優しい先輩の温かいご指導に恵まれ、今日まで過して来ました。感謝あるのみです。ある例会の時、たまたまパストガバナーの辻由兵衛様と席を同じくし、私にとっては雲の上の人に見えた大先輩で緊張していましたところ、優しく話を掛けて頂いた事、懐かしい思い出になっています。辻様は卓話の中で、ロータリーは国際奉仕が特に大切であるとおっしゃっておられました。また、ロータリークラブとライオンズクラブの違いについて話されたことは、ライオンズはワイサーブ(We Serve)、ロータリーはアイサーブ(I Serve)であり、ロータリーは、個人個人の意思により奉仕をする事だとおっしゃ

られた事が印象に残っています。実際は中々出来ない事ですが、ロータリーの、四つのテスト、真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか、を少しでも実現したく考えての毎日です。あるパストガバナー挨拶の中で、『ロータリーは修行の場所』と言っておりましたが私も少しでもそれに近づくよう努力したいと思います。

話は変わりますが、最近ある先輩から聞いた事で印象に残ったデジタル革命について少し話したいと思います。それは、ウクライナの副首相兼デジタル大臣は、31歳の若さでIT戦略を駆使してロシアに徹底抗戦をしている。また、今話題になっている電気自動車ステラの創業者イーロン・マスク氏が『いずれ日本は消滅するだろう』と物騒な発言をしています。デフレから脱却できず、経済が益々縮小し、人口が減り、文化も産業も消滅し続けていけば、という事らしいです。日本は今ITの後進国で、いち早くこの汚名からの脱却を迫られていると思います。コロナ禍の影響もあり、日本でも急速にIT化が進んでいるようです。『仕事は時間ではなく、アウトプットの成果だ』という時代に入った。AIが人間に代わっていろいろな作業をしてくれている。しかしコンピューターには学習能力があり今後は、AIが問題の解決、将来の計画まで出来るようになる日も近いとの事でした。

私の会社でも、映像の編集はパソコンを自宅に持ち帰り自宅での作業をする、いわゆるテレワークも増えています。従来の様な定時出勤の強制はなくなり、自由な雰囲気の中で業務が出来るようになりました。これが、働き方改革の一つかな、と思うこの頃です。一昔前では考えられなかった事が現実に起きており、これからどこ迄変化するか不透明ですが、時代に遅れないようアンテナを高く上げ、研鑽に励みたいと思います。

※次回3分間スピーチは渡邊有規会員



地区ロータリー財団卓話

「ロータリー財団補助金について」

RI第2550地区ロータリー財団部門



平和フェロー・奨学金委員長 赤坂圭一様

皆様、こんにちは。11月は財団月間です。宇都宮東RCさんでは、加藤会長、渡邊(有)前年度ガバナー補佐のお骨折りをいただきまして、スウェーデンにグローバル補助金の奨学生を輩出していただきました。本日は財団のおおまかな話と奨学金の話をさせていただきます。皆様から貴重な浄財をいただくにあたりまして、財団がどのようなことをやっているのか、財団の意義などをご理解いただければと思います。

- パワーポイントに沿って説明 -

- ・「ロータリー財団は、皆様からのご寄付を世界各地での奉仕活動に役立てています」

100年以上も前に創立されて以来、ロータリー財団は、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供してきました。一つひとつのご寄付により、世界中の地域社会を少しずつ変えていくことができます。

- ・ロータリー財団の使命

「ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。」これは、ロータリー財団のPRパンフレット等の一番最初に出ています。加藤会長のスマイルに、「グローバル補助金の奨学金がロータリーの一つの根幹」とありました。質の高い教育によって、世界の平和を目指すということです。ウクライナで紛争が起っていますが、戦争しない平和な世界の状態、バランスを作る、紛争を解決する人材を育てるということがロータリー財団の一つの使命なのではないかと思います。

- ・第2550地区の財団委員組織

委員長は森本敬三パストガバナー(大田原中央RC)で、補助金委員会等、諸々の委員会(小委員会)があり、それぞれの活動をしています。クラブに馴染み深いのは地区補助金のプロジェクトだと思います。

- ・シェアシステム

各クラブで寄付されたお金は、一度ロータリー財団(TRF)で管理され、3年後に戻ってきます。TRFに管理費として5%差し引かれ、残りは、WF(国際財団活動資金)とDDF(地区財団活動資金)に半分ずつ分けられます。DDFの半分までを地区補助金として使用出来ます。後の半分はグローバル補助金の申請、ポリオプラス、ロータリー平和センターの支援などに使われます。グローバル補助金の申請は、要件として、支援国と実施国があること、支援国と実施国の協力によって3万ドル以上のプロジェクトを行うことなどあります。グローバル補助金は、その半分がDDF

からの支出になります。以前は後の半分をWFから支出されましたが、一昨年コロナ等の関係で減額になり、80%の上乗せになっています。例えば、DDFで2万ドル支出した場合、WFからは16,000ドルになります。また、DDFの支出に対して、10%のクラブ拠出が決まっています。

- ・ロータリー平和フェロー

世界の8つの大学に7つ(2つの大学で1つを共有している)のロータリー平和センターが設置されています。平和センターで国際理解、平和の構築・促進のために、①修士号をするプログラム、②専門能力開発のプログラムを修了した人が平和フェローとなります。世界中から平和のために勉強したいという学生が集まってきます。世界で130人。日本では、国際基督教大学に平和センターがあります。授業料、入学金、滞在費、往復航空券、インターシップ等、費用はすべて世界中のロータリアンからの寄付で賄われています。国際紛争、戦争を無くすために特化した活動、国の役職等について国際平和のために頑張る、そういうことが平和センターの意義です。

- ・ロータリー財団奨学金

グローバル補助金を利用した奨学金と地区補助金を利用した奨学金に分かれています。グローバル補助金は要件として、7つの重点分野に限られます。①平和を推進する②疾病と闘う③きれいな水をもたらす④母子を助ける⑤教育を支援する⑥地元経済を発展させる⑦環境保全、このテーマの研究に対して補助金を出します。スウェーデンに勉強に行っている山田さんは、教育の支援というテーマで申請して承認されました。地区補助金利用の奨学金は7つの重点分野に該当しない分野に対してのものです。奨学金申請の留意点として、必ずクラブが推薦するというので、申請者が直接応募することはできません。受付期間は9月～11月です。翌年の1月頃に審査し、4月頃に次年度に補助金を支給することが決まります。今年度の地区補助金は、小山東RCからアメリカのロサンゼルスに1名、真岡RCからイギリスのニューキャッスルに1名です。グローバル補助金につきましては、宇都宮東RCからスウェーデンに1名、宇都宮北RCからオランダに1名です。受験者本人の学力はもとより、推薦クラブ、ホストクラブのご支援・ご尽力の結果、当地区で初めてのグローバル補助金利用の奨学金承認となりました。

- ・財団への寄付が世界にもたらす影響

「わずか60セントで、1人の子どもをポリオから守ることができます」「50ドルで、水を介する疾病から人びとを守るために安全な水を提供することができます」「500ドルで、いじめ撲滅キャ

ンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境をつくることができます」などあります。実は今日、午前中ですが、民生委員の会合でヤングケアラーという問題が話題になりました。ヤングケアラーとは、小学校児童、中学校の生徒が家庭の事情で介護をしているということで、国の調査では、なんらかの介護をしている児童生徒が5%位いるという発表がありました。また、子供虐待、ネグレ

クト、こういったことが身近にもあるということです。是非、皆さんの浄財が、世界のよいこと、につかわれますようお願いしたいと思います。私達が財団に寄付したお金が、紛争の解決、教育の充実、母子の健康などに役にたつという事実をご理解いただければと思います。

※ロータリー財団のビデオ鑑賞